

大津赤十字病院を受診された患者さんへ

本研究は、当院の倫理委員会で承認され、大津赤十字病院の施設長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	滋賀県で行われている障がい者への自動車運転支援に関する実態調査－作業療法士へのアンケート調査から考える現状と課題－(No.1028)
当院の研究責任者 (所属)	リハビリテーション科部 常深真一
他の研究機関および 各施設の研究責任者	佛教大学 保健医療技術部 作業療法学科 助教 奥野隆司
本研究の目的	滋賀県内の自動車運転支援に関わる作業療法士が所属している病院や施設へのアンケート調査を行い、障がい者に対する自動車運転支援の現状を明らかにします。その結果から課題を抽出し、滋賀県内で障がい者に対して共通した自動車運転再開プログラムを構築し、他職種が連携して社会参加に向けた支援につなげていく事を目的とします。
調査データ 該当期間	西暦 2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 上記期間までに当院に入院し、作業療法にて自動車運転に関する支援を受けられた患者さん ●利用する情報 ・基本情報（年齢、性別、既往歴、原因疾患） ・心身の状態（麻痺、高次脳機能障害） ・神経心理学的検査（MMSE、TMT、Rey 複雑模写、コース立方体テスト、FAB） ・日常生活動作（FIM） ・ドライビングシミュレーターの使用について ・教習所との連携について ・自動車運転について ・傷病前の就労状況について
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	下記住所への郵送：京都市中京区西ノ京東梅尾町 7、佛教大学 保健医療技術学部 作業療法学科 担当者氏名：奥野隆司
個人情報の取り扱い	得られた情報に関しては、佛教大学内の研究代表者の管理の下で厳重に保管致します。得られた結果は、学会や論文にて公表しますが、必ずプライバシーを守り、個人が特定できるような形での発表は行いません。論文発表 10 年経過後には、全てのデータを処分致します。
本研究の資金源 (利益相反)	ありません。
お問い合わせ先	担当者：大津赤十字病院リハビリテーション科 常深真一 電話：077-522-4131
備考	